浜岡原発と全原発の廃炉を求める決議案

2011年3月11日東日本大震災において、福島第1原発が水素爆発を起こす重大事故が発生した。原発震災は大量の放射能を大気に海洋に放出し地球規模の汚染となり、県民16万人が避難する大惨事となった。土地と家畜を奪われた農民、海を奪われた漁民、学校を失った子どもたち、生活を失った住民たち、福島の美しい自然が失われた。

政府と東電は2年が過ぎながら、未だに福島県民の生活基盤の再建と被 災者救援が進んでいない。私達は「原発の安全神話」をふりまいてきた自 民党政府と、東電など電力会社に対して心の底から怒っている。

東京電力は福島原発事故の原因究明も進まず、事故責任もあいまいなままで、冷却機能の停止や放射能汚染水の流出など重大事故を続けている。 安倍自民党政権は原発推進策が重大事故となった反省もなく、「新規制基準」なるもので10月より原発再稼働を策動している。

静岡県に立地する「浜岡原発」は、東海地震・南海トラフ巨大地震の危険が問題になり「世界一危険な原発」と言われている。国民は「原発は安全」ではなく、福島原発事故で「原発震災」という現実を体験しました。「浜岡原発」が巨大地震により重大事故を起こせば、静岡県は勿論中部圏全域が被災し、日本の社会・経済が壊滅的な状況に陥ることが明らかです。今年3月「南海トラフ巨大地震被害想定」では、「死者32万人、経済被害170兆円」としており、巨大地震に「浜岡原発事故」は想定していません。

静岡県民は「浜岡原発事故」について、生命と生活の安全に関わる問題として大きな関心を持っている。私達は「浜岡原発の永久停止・廃炉、全国の原発の廃炉」を人類生存のために強く求めます。

私達は福島原発事故を決して許さない。福島県民の苦悩と悲しみを決して忘れない。自民党政権の「原発再稼働」を決して許さない。

2013年5月1日

第13回 藤枝市民メーデー集会

決議文提案団体

なくそう浜岡原発・命とふるさとを守る藤枝市民の会

憲法9条改悪反対決議案

安倍政権は今、憲法第96条の発議要件を3分の2から2分の1へ と緩和し、憲法改正を容易にさせようとしています。4月28日の参 議院山口選挙区補欠選挙で自民党候補者が圧勝したことで益々強気 の姿勢を見せ、後半国会では一気に憲法第9条改定まで進める勢いで す。

また、同日にはサンフランシスコ講和条約発効から61年目を迎え「主権回復・国際社会復帰を祈念する式典」と称して政府主催の式典を行いました。一方沖縄では「4.28屈辱の日沖縄大会」を開き、これに抗議するなど全国各地でも同様の抗議集会が開かれました。この4月28日は日米安保条約発効の日でもあります。

沖縄をはじめ岩国ややがて東富士にもオスプレイを配備して日米 安保体制を一層強化し、憲法第9条を廃棄し、自衛の名のもとに戦争 する国、国際紛争を解決する手段として国防軍という武力をもつ国に しようと目論んでいます。私たちは、このような安倍政権の侵略戦争 の道へと逆戻りする無謀な改憲策動を許すことはできません。憲法9 6条の改定に反対し憲法改悪を阻止するため断固闘うことを表明し、 これを決議します。

2013年5月1日

第14回藤枝市市民メーデー集会

決議文提案団体

全日本年金者組合・藤枝支部九条の会